特集

東京ケアリーダーズの本『YOSUGA』発行 座談会

介護の仕事の魅力を発信するため、2016年に結成された介護現場の若手職員によるユニット「東京ケアリーダーズ」。本年、活動の一環として、冊子「リアルな声から見えてくる介護の現場　YOSUGA」を刊行しました。本特集ではメンバーの広瀬史夏（ひろせふみか）さん、櫻田康平（さくらだこうへい）さん、井上悠夏（いのうえはるか）さんにYOSUGAに込められた想いや今後の活用についてお話を伺いました。

東京ケアリーダーズの皆さん（上段左：白十字ホーム　広瀬　史夏さん、上段右：ひのでホーム　櫻田　康平さん、下段：マザアス日野　井上　悠夏さん）

「YOSUGA」誌面

―― この度は YOSUGA の刊行おめでとうございます。作成の経緯をお聞かせください

広瀬　2019 年の研究大会「アクティブ福祉 in 東京」ではケアリーダーズによる相談コーナーを設けましたが、学生から介護職のやりがいや給与面などについて聞かれる場面がしばしばありました。そのような疑問や悩みに対して、ケアリーダーズがお応えする物を作りたいということがきっかけとなり、発行に至りました。

櫻田　また、2020 年からのコロナ禍により、ケアリーダーズの活動が制限され、イベントなどで外に出て直接発信することが難しくなりました。そのため、世間に介護の魅力を PR するための新たな媒体にしたいという一面もあります。

―― 「YOSUGA」というネーミングの由来を教えてください

「よすが」は漢字で書くと「縁」です。「縁」は「よすが」のほか、「えん」「えにし」とも読みます。「縁」という漢字は、古くは「身や心のよりどころとすること。頼りとすること。手がかり」という意味を持ち合わせているそうです。そのため、今回の冊子のタイトルにふさわしい、と、多数決で決まりました。

―― YOSUGA のコンセプトはどのようなものですか

井上　介護に抱かれがちなネガティブイメージを、明るくとらえてもらえるようにすることです。また、若い方が積極的に介護の仕事に関われるよう、介護現場のリアルを知ってもらえる機会にできればと思います。

広瀬　真面目に 1 ページ目から通しで読むというよりは、気軽に手に取ってさらっと読める本にしたいと考えました。介護に関する本の中では新しいタイプのもので、今後のケアリーダーズの活動の起爆剤にしていきたいと思います。

―― 冊子の特徴をお聞かせください

広瀬　テーマごとに章を分けて現場のエピソードを紹介しています。その時の気分で興味のあるところをピックアップして読める構成です。

櫻田　イラストや写真が多く、読みやすく仕上がっていると思います。メンバーが恥ずかしがりながら撮影した写真も見てほしいですね。

―― YOSUGA を通じて、どのような人たちに、どんなことを伝えていきたいですか

櫻田　介護職を目指す人や進路として選択肢にされている人に対して、魅力ある仕事だと伝えていきたいです。また、現場で働く方には、他の方の介護の仕事に対する経験や感情を共有でき、励みになる冊子になっていると思います。

広瀬　私自身もそうでしたが、学生は食事、入浴、排せつ、といったいわゆる「介護」の場面のイメージを強く持っていて、24 時間 365 日「生活」をケアしているというイメージは薄いのかなと思っています。そのような場面も紹介しており、より具体的に介護の仕事の実際を伝えていきたいです。

―― 編集作業はどのように進めましたか

広瀬　会員施設の現場職員を対象にウェブ上で「介護の魅力アンケート」を実施し、467 件の回答を頂きました。その回答をもとに、エピソードを抜粋して編集しています。

―― 編集を通じて見えてきたことをお聞かせください

井上　他の施設でも自身と似た思いや悩みを抱えている方がいるんだとわかり、仕事の上で葛藤があるのは私だけじゃないと心強く感じました。

櫻田　エピソードの中には私も自身の施設で取り組んでみたいと思えるような事例もあり、勉強になりました。

―― 周囲の方に読んでもらった際の反応はいかがでしたか

井上　介護職の母親、看護職の妹はエピソードに共感していました。また、祖父母は、「数々のエピソードに登場する介護職の人たちがいるからこそ、私たちの生活が支えられ楽しく過ごせるようになっていてありがたい。」と話していました。

櫻田　職場の同僚に回覧してもらっていますが、読んでいて介護の魅力ややりがいを実感できたという声があがりました。私の写真に対するコメントもよく頂きます（笑）。

広瀬　職場では、新人職員の研修の一環として使用しています。介護では、夜勤や看取りなど乗り越えるべき壁ともいえる仕事があり、最初は不安になります。ですが、YOSUGA の中には同じ不安を持つ方の話もあり、「一人じゃない」と実感できて気張りすぎずに仕事ができることにつながるのではないかなと感じます。祖母が特養に入所するという友人にも読んでもらいましたが、外からだと見えづらい施設の中がわかるようだったと話していました。「百歳のフライドチキン」のエピソードが印象的だったそうです。

―― 今後 YOSUGA をどのように使っていきたいですか

井上　介護に関わる YouTuber やインフルエンサーの方とコラボして、YOSUGA を広められたら面白いかなと考えています。

広瀬　コロナ禍が落ち着いてリアルのイベントにケアリーダーズが集まれるようになったときに活用していきたいと思います。また、社会全体が福祉に興味を持ってもらえるよう、まずは周囲の方に読んでもらえるよう広めていきたいと思います。

―― 最後に一言、PR をお願いします

櫻田　パラパラ読みでもいいので、気になるところだけでも読んでもらえたらうれしいです。また、ご感想を頂ければさらにうれしいです。

井上　介護のことを全く知らない人や介護職を志す人、介護をしている人に少しでも介護のことを伝えられればと思います。

広瀬　ケアリーダーズがおよそ 2 年をかけて作成しました。編集者は 10 名程度ですが、その背景には本当に多くの方の協力があって「YOSUGA」が出来ています。ぜひ手に取って読んでみてください。また、東京ケアリーダーズはメンバーを募集しています。ご興味のある方はぜひご連絡ください！

YOSUGA 概要

定価 495 円（税込み）　A5 サイズ 60 ページ

販売方法：東京都社会福祉協議会図書係ホームページで購入できるほか、都内の一部の大手書店で販売しています。

東社協図書係ホームページ▶
（ご注文はこちらから）